

逃亡犯マニュアル

プレイ人数 3～6名
所要時間 約 15 分

○使用するカード

すべてのカードを使用します。(基本カードは32枚です)
必要ならば追加カードを使用してください。

犯人・地下組織・強制捜査・名探偵・警部のカードはそれぞれ1枚ずつあり、「役職カード」と呼びます。
カードによっては ID が右下に記入されているものがあります。

○ゲームの目的

犯人は、ゲームの最後まで逃げ切る、あるいは地下組織によって脱出すること。
捜査機関は犯人を逮捕することです。

○ゲーム準備

カードをシャッフルし、各プレイヤーへ2枚ずつ裏向きに配ります。
余った札は山札として置きます。

○遊び方

手番の人は、手札から1枚を場札として表向きに出します。
(ゲームスタート時、場札の数字を5とみなします)
場札を出した人は、カードに書かれた指示に従います。
指示に従ったら手番は終了し、次の人に移ります。
手番が終了した時点で、手札が1枚の人は、台札から1枚を手札にとります。
(次の人の手番で、2枚の手札を持つこととなります)
山札がない場合、手札が1枚のまま続行します。
終了条件を満たした場合は、ゲーム終了となります。

○ゲームの終了条件

- 1) プレイヤーの手番が終了し、全員の手札が1枚となった時。
- 2) 「犯人」と「地下組織」の両方を手札として持ち、自分の手番で勝利宣言をした時。
- 3) 「犯人」と「地下組織」の両方を手札として持ち、他のプレイヤーに「強制捜査」・「名探偵」・「警部」により「犯人」を持っていると指名された時。(犯人側の勝ち)
- 4) 「強制捜査」・「名探偵」・「警部」により、「犯人」を持っているプレイヤーを指名した時。(終了条件3の場合を除く)

○得点と順位

終了条件によって計算方法が変わります。

●終了条件1)の場合

得点

「犯人」を持っている人 : +3

「地下組織」を持っている人 : +1

順位

手札の数字が小さい人から順位をつける。

●終了条件2)の場合

得点

勝利宣言をした人 : +4

順位

勝利宣言をした人が1位。
その他、手札の数字の合計数の小さい人から順位をつける。

●終了条件3)の場合

得点

「犯人」と「地下組織」を持っている人 : +5

順位

「犯人」と「地下組織」を持っている人 : 1位
「強制捜査」・「名探偵」・「警部」カードを使い、指名を行った人 : 最下位
その他、手札の数字の合計数の小さい人から順位をつける。

●終了条件4)の場合

得点

「強制捜査」・「名探偵」・「警部」カードを使い、指名を行った人 : +3

「犯人」を持っておらず、「強制捜査」・「名探偵」・「警部」を手札に持っている場合、1枚につき : +1
(ただし、指名を行ったカードは含まない)

順位

「強制捜査」・「名探偵」・「警部」カードを使い、指名を行った人 : 1位
「犯人」を持っている人 : 最下位
その他、手札の数字の合計数の大きい人(注意!)から順位をつける。
(捜査機関側の勝利とみなします)

○ルールについての補足

山札からカードをとってきた時、犯人・地下組織が揃っても、勝利宣言は次の手番を待たなければいけません。
(手番はすでに終わっているため)
カードは通常は他のプレイヤーに見られないようにします。報道記者は自分の手札、身辺調査・警部は他のプレイヤーの手札を見ることができます。

○追加ルール

ボーナス点やマイナス点など得点に関して追加・変更も可能です。

「目撃証言」や「聞き込み」カードの質問に追加ルールを加えることも可能です。

・「好きなお菓子は何？」など、ゲーム以外の質問もしなければならない。

・IDがある場合は答えなければならない。

など…。

Copyright © 2014 Anausagi

このマニュアル及びカードのPDFファイルの、変更・再配布を禁止します。
また、無断での商用利用を禁止します。